

# 第1回美祢市総合計画審議会 ひと・暮らし部会 議事録

日時：令和元年6月19日（水）18：30～21：00

会場：美祢市民会館2階 大会議室

	委員区分	団体名	氏名	出欠
1	部会長	美祢市社会福祉協議会	羽根 一孝	
2	副部会長	美祢市教育委員会	金子 明美	
3		美祢市議会	高木 法生	
4		美祢市医師会	原田 菊夫	
5		美祢市子ども・子育て会議	倉永 健造	
6		山口県立美祢青嶺高等学校	藤村 慎一郎	
7		美祢市地域組織活動連絡協議会	三嶋 明美	
8		美祢市小中学校PTA連合会	松田 龍信	
9		成進高等学校	野原 政典	
10		美祢市体育協会	真瀬 邦夫	
11		美祢郡医師会	坂井 久憲	欠席
12		西京銀行	末岡 貴夫	欠席
13		山口県総合企画部中山間地域づくり推進課	稲垣 嘉一	欠席

## <資料>

### 次第

#### 基本計画及び総合戦略体系案

第二次美祢市総合計画基本計画（素案） ひと・暮らし部会

第二次美祢市総合計画総合戦略（素案） ひと・暮らし部会

## 1 開会

～資料の確認～

## 2 部会長あいさつ

～羽根部会長ごあいさつ～

みなさんこんばんは。ひと・暮らし部会ということでお集まりいただきありがとうございます。日頃は社協で働いている中で、今日は部会長という重責を賜ったが、今日初めてお会いした方がいらっしゃらないということで、安心しております。ひと・暮らし部会については

とても考える範囲の広い部会となっており、今日はいつもと違って少人数での部会ですので柔軟で忌憚のない意見をいただければと思っている。よろしくお願ひしたい。

### 3 議事

#### (1) 第二次美祢市総合計画基本計画の関係部門（案）について

事務局より：資料について説明

部会長：ただいま事務局から保健医療サービスについてご説明いただいたが、一旦ここでお気づきやご意見いただきたい。事務局からご説明あったように施策の順番やまとめ方についてもご意見いただければと思う。

委員：前提として今回の部会で何回のブラッシュアップがあるか。何月頃にあるか。

事務局：2回は確実にある。そのあと基本計画の部会と総合戦略の部会にはあがってくる。なるべく早くやろうと思っているので7月上旬にはやりたいと考えている。

委員：2ページ目で保健医療サービスの充実において、他の市が考える部分と美祢市がどれだけ違うのか。そういった調査をしているか。子どもたちの健康の課題について留意した物が方針としているのではないか。6ページ目の地域福祉の充実、取組の方向で「連携」といっているが実際すごく大変で、どういった仕組みでやっていこうと考えているのか聞かせていただきたい。

事務局：他市比較については、現状データは把握できていないがあれば次回お示しする。公立病院が多いことは事実としてあると思う。

子ども達については、母子保健の部分が大きな枠組み。後程子育て支援の分野で子どもの取組は出てくる。健康に留意した部分はこちらになるかと思われる。

地域福祉の連携については、社協とも連携していなければいけないところで進めている。

部会長：社協の立場からお答えすると、地域見守り協力事業者（生活関連事業者）がライフライン関係で各家を訪問される業者と連携して異変に気づいたら通報するような仕組みを広めていこうとしている。イメージ的にはそういったあり方。普段見守りをしている民生委員、自治会、福祉委員の皆様の見守りに加えて、空き家の増加などを踏まえた民間業者と市が提携をしている状況である。

委員：1ページで母子保健の充実という文言があるが、指導的な分野の事業だと思うが、妊婦健康診査について補助も出ているが受診率が悪いと思うので周知徹底をしてPRした方が良いと思う。

事務局：個別の数字は今持っているわけではないが、健診受診のための周知についても取組を考えている。

委員：コストはどう考えているか。美祢市は特定健診受診率は良いが医療費は悪い、コスト意識をうたわなくてよいのだろうか、訪ねたい。地域福祉を含めて地域包括ケアが基本。自助、共助、互助、公助をしっかりする必要がある。国は地域包括を基本とするつもりなのでそれをきっちりうたっていただきたい。いろんなサービスを永続させるためにはコストの意識が重要。コスト的に可能かどうか出来ること出来ないことをはっきりさせたほうが良いのではないか。検診受診率が良いに関わらず医療費が高いことをこの際のはっきり分析した方がよいのではないか。

委員：病院についてもそうだが、市立2病院はコストがかかってもやろうという考えなのか、コストがかかるならやめようということなのか。

事務局：今回、ご意見を聞く場としているので、そういったご意見をいただければと思う。

部会長：保健医療に始まって高齢者といった並びだが、今は個別の福祉分野があるが、地域福祉という分野で包含、横串をさそうという状況なので、上下ではなく地域福祉から個別に降りていこうという考え方なので、順番で変えていただけるのか、キーワードでまとめるのかは事務局で検討していただきたい。

5ページ災害時要援護体制については障害者に限ったことではなく、地域福祉の主な取組と指標として考えられるので移していただければどうかと思っている。

委員：民生委員の立場からしたら活動しやすいようにして頂けたらと思う。一人の対象に対して複数の手が対応できるようネットワークを作してほしい。

部会長：障害者として狭めるよりも広げていただけたほうが良いのではと思う。

事務局：地域福祉を上位に持ってくる順番についてと要援護者に関する項目を地域福祉にもってくる内容については、共生社会の自助・互助・共助の特出しにはなっているのかもしれないが、そこに盛り込むのか別にするのか含めて見直させていただきたい。地域包括ケアが核になっているというお話もあったように、高齢者福祉の主な取組の中でもどこを上位にもってくるのかを検討したいと思う。

委員：保健医療サービスの充実の中に救急医療の充実とあるが、現状のサービスを見据えた上でのさらに充実させるものではないかと思う。

今日病院に救急搬送をお願いしたが、搬送前に受け入れ先を確保するために30分くらい時間をかけていた。救急の場合はすぐ受け入れられるようにするべきだと思うが、ついには救急病院に運んだ。そういったことも考え直す必要があるのではないか。美東秋芳としては美東病院の存続を願っているが、救急の受け入れについてどうなるものか。

事務局：市民が重要視している分野でもあるので、不安の解消も出来るように仕向けていきたい。医療というのは提供側の質や安全性もあるので、患者と病院のお互いの状況もあるので、いろいろなことを考えて丁度良いものを考えていく必要がある。

委員：人材育成について、本校の生徒の一部は医療系にいつている、この中に人材育成に関わることがあればインターンシップなどキャリア教育などの仕組みを入れることができればありがたい。本校の生徒からはニーズがある。

委員：検診率が高く医療費悪いというのが危険だと思っており、医療費については高齢化率が高く、他より高くなる傾向はわかる。高齢化率なども合わせてみていただいて、分析しないといけないのではないか。

事務局：おっしゃっていただいていることは、医療費、保険、受診など数値根拠に基づいて政策をするべきだということだと思う。たしかに本市の医療費は非常に高い。それをもう少し丁寧にみると入院外が少し高くなっている。いろんな問題があり、必ずしも高齢化と直結しているわけではない。財政や人口減少も加味して検討したい。次回までにもう少し数値を見ていきたい。

部会長：総合計画と個別計画でどこまで深めるのかというのがある。今回は総合計画でなかなかその深い所は記載できないかもしれないが、根拠自体は示していただきたい。

事務局：2つの病院について重要だと思っているが、今は守るべきだと思っているが、ご意見いただきたい。

委員：2つにするのであればコストがかかるのは仕方ないので、コスト管理をしていただき、よそにない強みになりうるのを全面に出していただきたい。重要度は高い課題。効率を目指すのか、ここだけ特化するのか明確に打ち出す必要があると思う。

委員：厳しいとは思いますが、市域が広く病院を残してほしいとは思いますが、それぞれの役割をはっきりきめていただくのが良いと思う。

委員：市立病院の先生が開業されたりするが、市立病院の中でそういったことはできないのか。そうすると市立病院の価値があがってくるのではないか。今日の病院に行こうか救急隊員も困っているのだと思う。

部会長：ドラマか小説にもなっていたが、静岡で実例があったと思う。

委員：開放型の医師会がやっている病院と同じであろう。病院を受けようとするときに行きやすいことを最初に考えないといけない。

事務局より：資料の続きについて説明

部会長：住環境、定住促進について意見はあるか。

委員：8ページに支援とあるがどんな支援をしているか。

事務局：3世代同居であれば補助金を交付する。美祢市は300万円で他市よりも高い。そもそも宅地が安く、補助制度もある。すんでみ〜ね。住まい応援事業。新婚などにも上乗せの補助金支援がある。

委員：市営住宅の入居率の数値がないと話が出来ないのではないかと。本当に足りているのか。

委員：大阪から移ってきたが、公園などの身近に遊べる場が少ないように感じる。あってもボール使ってはいけない騒いではいけないなど、活用しづらい。害獣対策についても住みやすさ安心できる部分に入って来るのではないかと。庭先に猪や鹿が出て怖いという話もある。

委員：遊具の関係は美東に1つと、ここにも1つあるが、身近なところで遊べる場所があるというのが良いが、調査をしたところ、来福台に小規模の遊具があるが、ことごとく使えなくなっている。砂場も使えない。どうにかならないか。

委員：歩いて行ける公園がない。みんなで遊べる場所がほしい。

委員：本当は学校のグラウンドなのではないかと思うが、今は帰らされる。自由になれば活用できる。

委員：各家庭の親が古い施設と遊具がどうにかならないか。処理しないと使えない状況が多いので貸し借りを断っている。年次的な更新など可能なら行っていただきたい。

事務局：限られた財政の中で必要なことを見極めていくべき。

委員：商業施設と遊ぶところが合体したようなところに行くので、若者が遊べる、若い夫婦がいっしょに買い物できる大きな商業施設があるとよいと思う。これだけ交通網がよいまちなので。

委員：せっかく秋吉台があるのに、それしかない。付随した良いものがあってほしい。

部会長：地域で座談会しても美祢にショッピングモールはできないのかという話はよく聞く。

事務局より：資料の続きについて説明

部会長：文化振興、文化財について意見はあるか。

委員：10ページについて、文化芸術を育てていくことは教育だと思っている。一番の基礎は図書館の充実を最重要にしていきたい。11ページの文化財保護、保存について地域地域で平安末期からのエピソードなど、うちの地域にも源平時代の刀が残っているのだが、地域に力はなく保存が利かなくなっている。喫緊の課題ではないか。良いものをどう集約して発信していくべきか。情報収集が非常に大事ではないか。相当数眠っ

ているのではと思う。

事務局：保護管理の中に積極的な情報収集を行っていく。図書館は生涯学習の中に機能の充実整備ということで盛り込んでいる。今のところはそこに図書館機能の整備充実を設けている。いずれにしても充実していくべきという意見は受け止めておく。

委員：図書館については同様に重要と考えており、図書館だけではなく公民館もあちこちでいろんなイベントをされている。いろんな文化が合流すると良いのではないか。単独の図書館だけでは人が来ない。中学校の文化祭など文化活動も良いものがたくさんある。象徴となるような文化施設に図書館が併設されるなどが良いのでは。市民館が改築されるような計画はあるのか。

委員：市民館は大きくて閑散としているのでやるのもやりにくいような気がする。箱モノを増やすわけにもいかない。秋吉台国際芸術村がちょうどいいが、動線が長い。空き地があり草が多いが駐車場にできないかと思っているが、設計士が有名でなかなか難しい。専門的な施設は必要だと思う。

委員：市民館と図書館の耐震性はどうか。避難場所にもなっており、震度5に耐えられるのか。総合戦略でいうと、根本的に立て直すということを目標にすればどこを削ってどこに力を入れるか。

委員：市民館はこのままという風に聞いている。

事務局：図書館は重要だとみて、新設統合についても検討している。ハード整備の優先順位や集約化も考えている。

委員：基本的にはコストとして出来ることのために何かを削らないといけない。市民のためにやらなきゃいけない事業は必ずあり、どこをコストカットするべきか総合戦略として考えなければいけないといけない。コストカットできる場所は絶対にある。そういうのを全体的に考えないと現実問題お金がないとできない。ひとつひとつの総合戦略の内容は素晴らしいが、できるのかということは考える。文化協会の数を追うのはやめた方がよい。中身が充実することを追った方がよい。

事務局：今回そもそも人口という数を追っている中で大変参考になった。

委員：文化財がある中で、市民がなかなか知らない状況がある。厚保の小杉の資料を集めているが、あればいただきたい。

委員：MYTを見ていて、知ることがある、学校教育では子どもたちにしっかりと教えていただいているのか。

副部長：副読本の立派なものを使っている。合併の年にそれぞれ1冊ずつだったものをまとめており、改訂されながら学んでいる。

委員：市報などでそういった内容を紹介していくことは可能だろうか。

事務局：漫画で描き起こしてもらったこともある。なかなか知らない話もいっぱいだしてもらった。

事務局より：資料の続きについて説明

部長：何か意見はあるか。

委員：先ほど医療の分野で部長がご指摘された横串の話で地域ぐるみでしているので地域総がかりが先に来て、それぞれのものが後に続くのではないか。

16ページ、教育環境の環境整備・充実で適正規模・適正配置は必ずPTAでも話がでる。今の教育環境を聞くことなく、行政でこういった施策が進んでおり、連携する場所

や仕組みを作ってそれぞれの施策を進めるべきではないか。  
みね型地域連携教育とあるが、これはどういったものか。

副部会長：県全体でコミュニティスクールを進めているが、みね型とは中学校区を中心に目指す子ども像や9年間を見据えた教育課程、あいさつ指導などの教育指導をどのようにするかなど地域も一緒になって育てていこうという内容を進めているもの。

委員：県の家庭教育支援の手法とどう違うのかがあまり分からなかった。県に比べて美祿の家庭教育支援は立ち遅れているのではないか。幼保小中高までいれて進めているにもかかわらず、なかなか美祿では浸透していないのではないか。美祿独自のものがどういうものなのか、郷土を愛することに繋がるのか疑問に思った。

18ページに図書館機能に老朽化する市内図書館という書きぶりが気になった、どちらにしても改装するのであれば、ありがたい姿を記載して欲しい。こういうものを目指していきますといったようなもの。

13ページについても子どもが少ないからこうするというのではなく、子ども達にこういう教育を受けさせたいからこうしましょうというように作っていただきたい。今の現状を嘆いてそれにあわせましょうということではなくしてほしい。

21ページの男女共同参画でこれだけを施策であげた理由はあるか。もしあげるのであれば外国人についても増えてきているので、人権教育につながるかもしれないが、そういった視点も必要かと思う。

事務局：社会総がかりについてはみね型教育の部分が頭にくるようなイメージで良いか。

文言については、各原課と調整して、さきほど部会長も言われたように、基本計画なのでどこまで具体的な内容を入れられるか個別の計画と調整していく、老朽化については記載を工夫させていただく。

委員：みね型は私も委員なので、入っている。近い学校同士であれば小中連携協議会など、連携が取れるが、実際にはなかなか連携が取りにくいということで、抜本的な見直しが必要になっている。高校や大学も連携しようとして縦をつなげようとしている。

山口型ではないが美祿ならできることを探ろうということでモデル化されている。

委員：大嶺中学を基本として、県内のモデル校になっており、どういうことができるか検討している。

副部会長：15ページに現状と課題で混在しているので、現状、課題を分けてもらったら分かりやすいのではないか。市内統一県産メニューにかぎかっこがほしい。情報活用教育を推進しますというところは情報教育としたほうが良いのではないか。

委員：郷土を愛する前に、人を愛する教育をうたってほしい。最近では人を愛せない人が医者になっていたりもする。人も愛せない、郷土も愛せない人が増えているので、是非うたっていただきたい。

美祿ならではということでは、例えば中学校を勉強をしたい学校と、芸術文化をする中学校などに特徴分けて、市内循環バスを巡らせるなどしてはどうか。小中高を1つにまとめてしまって、その中でやるというのも良いかもしれない。新生児が100人を切ったということは1校分の適正規模である。大嶺が今増えているのは他の中学校ではクラブ活動が選択できないから、於福、伊佐にいたらクラブの選択もできない。そんな状況で子どもたちによい教育なんてできない。これから先、子どもが増えないのであればそういった1校を柱にして、市内循環バスを作って、高齢者も乗せられるようにして、市内高齢者の交通問題解決にもつなげられる。子どもが100人切ったということを前提にして計画を立てないで良いものか。

人を愛して、郷土を愛して、国を愛する教育はしてこなかった。人間のあるべき姿として、そうしてもよいのではないか。

委員：市内中学を卒業してもよその県に出てしまう。親は地元にながら子どもがよそにいる。

部会長：今の議論は戦略の中にもかなり盛り込まれていると思う。

委員：ミネイングリッシュクラブ、ビレッジについて、旧川東小でフリースクールがあったと聞いたが、どんなものか。

副部会長：心の広場とって、不登校の子どもなどが学べる場としてある。

委員：美東中学と大田中学が認知症サポーター養成講座をしてもらうことになった。豊田前中学を対象にしたときに質問で地域に認知症の方がいればやさしく声をかけてエスコートしてほしいと伝えたが、犯罪が多いので知らない人に声をかけることにたいしてどうすればよいかとあった。知らない人であれば声をかけないようにしてとした。

部会長：認知症サポーター講座について、人権のところでもそういった配慮があった方が良くということの良いか。

事務局：男女共同と合わせて、検討させていただく。

委員：16ページの3で、小中学校が統廃合するときにPTAがこれ以上は無理ですということを教育委員会に伝えてからスタートする。非常に残念なことで、当事者たちが言わないと動かない。適正規模・適正配置を示すことは大事なことだが、PTAのみなさんはこの結果待ちなところはある。なりたい姿、ありたい小学校の教育体制、規模・配置を打ち出していかないと、地域の反発にあうのではと思う。書きぶりには気を付けないといけない。

事務局：地域発と言えれば良いように聞こえるが、押し付けているようにも聞こえるので配慮したいと思う。

ひとの視点からスタートしようということがとても大事になっている。高等学校の重要性も高く、書き方もご意見あれば頂きたい。

委員：本校はひとつくりとまちづくりのモデル校になったので、まちづくりに関わっていくとこういった会議に高校生を出したい。それで自分事にもなってくると思う。ぜひ高校生の色々なアイデアを聞く場があればまちづくりにもなるし、ひとつくりにもつなげたい。3校一緒にしたがそれでも定員を割れた、なので小中学校一緒にしてもどうなのかというところはある。

委員：16ページで市立高校のことは間違いか。

事務局：市で考えているのは市内にある高等学校という意味で考えている。

委員：PTA連合会で元海士町長に来ていただくので、是非きていただきたい。

委員：県内で甲子園出ていないのは美祢市だけなので、是非甲子園に出したい。指導者の先生にも勉強していただきたい。野球だけに限らず、良い成績を残して美祢市の活性化につなげていただきたい。

委員：3歳児検診の虫歯罹患率が県内ワーストだったので現在どうなのか気になる。キシリトールのガムを噛めばよいというのがあって、赤ちゃんがおなかにいるときから親が推進していくと良い。まず回りが予防をすれば赤ちゃんの予防にもつながると聞いたので、今どのようにしているのか気になっている。

委員：虫歯の罹患率は良くないが、小学校の中でフッ素を使った指導を進めているので減少しているのだろうが、赤ちゃんになるとまだわからない。

委員：保護者への教育は非常に重要で、どこかしらにその項目はあっても良いのではないかと思う。

部会長：保健系の中では是非伝達していただきたい。総計の中では親の教育という目線を入れ

ていただきたい。

事務局より：資料の続きについて説明

部会長：何か意見はあるか。

委員：市民参加型のまちづくりの中に、行政職員の責任というか、ボトムアップだけではまちづくりは叶わないので、情報発信など基となるものを発信し続け、市民はその思いを発信する双方向型が理想だと思うので、そういった内容を入れていただきたい。

委員：市民参加型はとても大事だが、声をあげない市民の声があって、地域包括ケアをやっている市はアンケートをとっているが、もどってくるものを使っているが、戻ってこないところにニーズがあるとして、訪問するなどして意見を吸い上げている。そういった姿勢で良いものを作ってほしい。

部会長：調査は委員がおっしゃることが言えると思う。返事が無かったところに対して訪問して伺うということも実際にある。ぜひ目指したいところだと思う。

委員：行政職員の責任として拾えない声を拾っていくという分野を一つ入れるのも良いのではないか。

部会長：救急医療で搬送先決定までに時間が掛かるという事例に対して意見をいただきたい。

委員：かかりつけ医の問題もひとつあり、救急隊と医者が探すのと対応が違う、かかりつけ医をきちんと持っていれば、救急隊からかかりつけ医に連絡をして、その内容を受けて、受け入れ先を探したり、かかりつけ医自身が受け入れ先を探すべきだと思う。かかりつけ医が上手く活用できているかが1点。

施設であれば、配置医師や嘱託医師がおり、その関係性や関わり方による。それらの医師が対応するのが当たり前の姿かと思う。

委員：救急医療の充実の中にかかりつけ医の内容をいれると市内の医師が休めなくなってしまうのでは？

委員：大変な時は確かにあるが、いつもいつも大変というわけではないので、そこまで負担に思うことはないと感じている。本来はかかりつけ医がどうかかわるかの問題。夜でもちゃんと対応してくれる嘱託医師を探すことが良い。医師不足であり総合病院がだれでもいつでも受け入れる時代は終わっている。適切な場所に医師が電話すれば、受け取れる。かかりつけ医がどこまでかかわるかが大事。病院も拠点化されていくので、24時間見てもらうためにはそういった場所を活用するようにするしかない。そういう時代がきている。

部会長：選択肢を一人ひとりが判断できるような情報がないとできないと感じた。目の前にある病院いくのに30分かかるといったことも起きている。

どこまで反映させるか。

事務局：委員からお話いただいた内容はとても参考になる部分が合った、行政が情報を開示して議論していかないといけないと感じている。これから作っていくときにいかに説明責任を果たしていくかが重要だと感じた。市だけでなく、市民を含めてなにを成していくか検討していきたい。

総合戦略については、ご意見を紙でいただくということもできるのだがどうだろうか。

羽根会長：基本計画でかなり深いご意見いただいたので、ペーパーで意見をいただくというのでいかがか。

## (2) 第二次美祢市総合計画戦略の関係部門(案)について

事務局より：総合計画と総合戦略の関連について説明

会長：気づきなどは書き込んででもメールや電話でも良いか。いつまでに連絡しようか。

事務局：できたら今週くらいにいただけたらと思う。国の総合戦略が出たところで、より人に視点があたっており、キーワードとしては関係人口、ソサイエティ5.0、SDGsなどがある。

## 4 閉会